

## 彗星出現記録

編) 作間幸太郎 Kotaro Sakuma 山口県山口市

### (1) AD 236の彗星

a) 魏の青龍四年 (AD 236) 十月甲申 (ユリウス暦 11月30日)、彗星の棹が大辰 ( $\pi$  Sco・ $\sigma$  Sco) にあつて長さが三尺であつた。

b) 魏の青龍四年 (AD 236) 十一月己亥 (ユリウス暦 12月15日)、彗星が天紀 ( $\xi$  Cr B) を犯した。

c) 魏の青龍四年 (AD 236) 十一月己亥 (ユリウス暦 12月15日)、彗星が宦者 (32 Op h) 犯した。

(出典) 唐開元占経巻89、中国書店1989年 639頁

### (2) AD 287の彗星

a) 晋の武帝の太康八年 (AD 287) 九月 (ユリウス暦 10月24日~11月22日) 彗星が南斗宿 ( $\phi$  Sgr) を犯した。長さ数十丈 (20度~30度?) となり、十餘日 (12~13日?) で消滅した。

(出典) 唐開元占経巻89、中国書店1989年 640頁

### (3) AD 302の彗星

a) (晋の) 恵帝の永寧二年 (AD 302) の夏四月 (ユリウス暦 5月14日~6月11日) 彗星が昼現れた。占いは行われなかつた。

(出典) 唐開元占経巻89 中国書店1989年 636頁

### (4) AD 365の彗星

a) 苻堅の九年 (AD 365) 四月 (ユリウス暦 5月7日~6月4日)、客星が尾宿 ( $\mu$  Sco)・箕宿 ( $\gamma$  Sgr) に現れた。長さは十餘丈 (120度?), 形は彗星のようであつたが、末端で曲がっていたので、あるいは蚩尤旗と呼ばれるものかもしれない。東井宿 ( $\mu$  Gem) を掃つた。夏が過ぎ冬まで及んだが消滅しなかつた。

(出典) 唐開元占経巻89 中国書店1989年 645頁

### (5) AD 422の彗星

a) 宋の武帝の永初三年 (AD 422) 十一月戊午 (ユリウス暦 12月18日) 彗星が室宿 ( $\alpha$  Peg)・壁宿 ( $\gamma$  Peg) に在つた。

(出典) 唐開元占経巻89 中国書店1989年 642頁

### (6) AD 423の彗星

a) (宋の) 少帝の景平元年 (AD 423) 正月乙卯 (ユリウス暦 2月13日)、彗星が東壁 ( $\gamma$  Peg) の南に在つた。白色で長さ二丈餘 (23度?)、天苑 ( $\gamma$  Eri) を掃つて二十日で消滅した。

(出典) 唐開元占経巻89 中国書店1989年 642頁

2010/08/21